

岩手県立大船渡病院救命救急センターによる ドクターカーの試行運用の開始について

県立大船渡病院救命救急センターは、患者の救命率向上を目指して、救急車と同時に医師や看護師を乗せた緊急車両を患者の元へ派遣し、病院到着前から診療を開始する「ドクターカー」の運用を、令和6年4月から大船渡市、住田町にて開始し、令和7年2月には陸前高田市を運用範囲に加えました。

本年9月16日(火)からは運用範囲をさらに拡大し、釜石市、大槌町で試行運用を次のとおり開始します。

1 ドクターカーとは

緊急性や重症度が高い患者を病院外で診療するため、必要な医療資機材等を積載し、医師や看護師が乗り込み出動する緊急自動車です。

出動したドクターカーは、患者を搬送している救急車とあらかじめ決められた場所（ドッキングポイント）で合流し、医師や看護師が救急車内で診察や処置を行なながら、県立大船渡病院等へ搬送します。



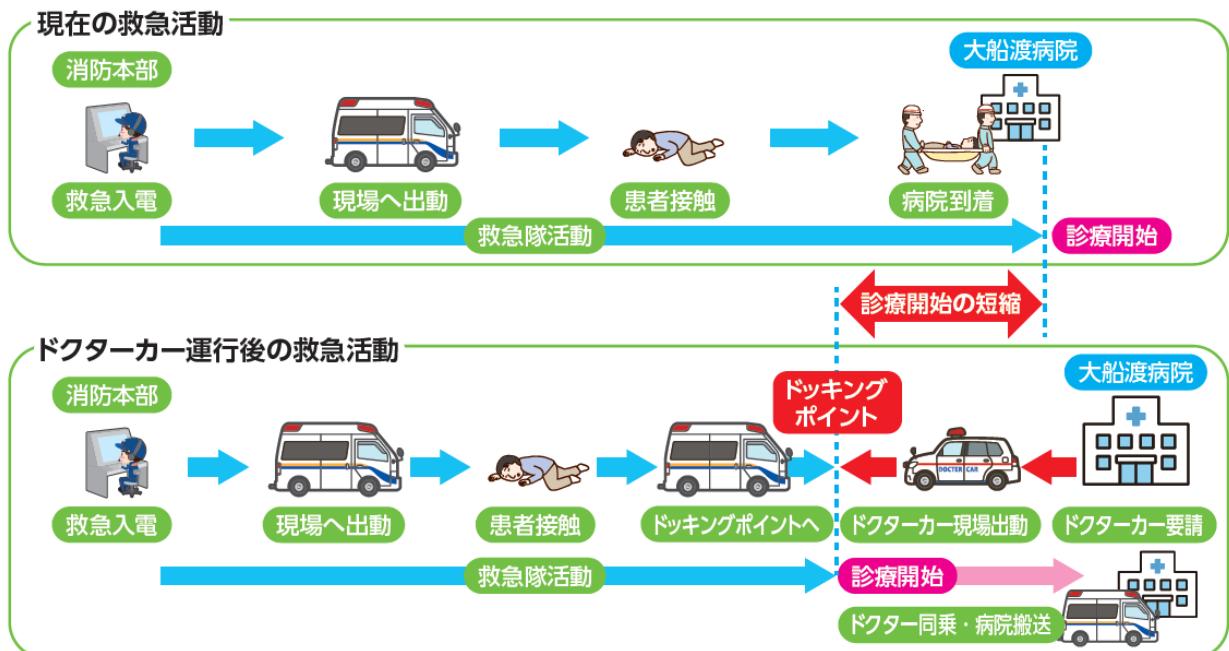
2 運行日時

平日の9時～17時（緊急手術など、医師の都合により出動できない場合もあり）

3 運用上の注意事項

- ① 釜石市と大槌町の119番通報は、これまでと同様、釜石大槌消防本部の通信指令センターにつながり、釜石市または大槌町の消防署から救急車が出動します。
- ② ドクターカーは、県立大船渡病院救命救急センターと消防本部で定めた「要請基準」に基づき、消防本部の要請により出動します。市民が直接ドクターカーを要請することはできません。
- ③ ドクターカー合流後の診察、処置は、医師による一連の診療行為であるため、患者の皆さんには相応の医療費負担が発生しますが、全て保険診療の範囲内となります。これらの医療費は、県立大船渡病院以外の医療機関に搬送された場合でも、県立大船渡病院にお支払いいただくこととなります。
- ④ ドクターカーは、救急車と同じようにサイレンを鳴らしながら緊急走行をします。

4 ドクターカーの運行イメージ



5 医療費（診療報酬）の例

ドクターカーが出動したことだけでは医療費は発生しないものの、医師が患者と接触した時点から医療費が発生します。医療費は県立大船渡病院から患者、及び各保険者（国保、後期高齢、生活保護等）へ請求することになります。

なお、ドクターカー出動料のような利用料はありません。

○診療報酬の例

- ・往診料 720 点（医師が現場到着し傷病者を診察すれば発生）
- ・救急搬送診療料 1300 点（医師が救急車で医療機関に搬送すれば発生）
- +長時間加算 700 点（診察開始から 30 分以上の時間を要した場合に加算）
- +新生児加算 1500 点、+乳幼児加算 700 点（新生児や 6 歳未満の乳幼児の診療の場合に加算）
- ・処置、材料、薬剤等（実際の医療行為による）

6 ドッキングポイント

釜石大槌地区に係るドッキングポイントは幹線道路沿いに 12 か所選定されています。

- ・大槌消防署、釜石北 IC 出口待機所、根浜シーサイド、釜石消防署、沿岸広域振興局、道の駅釜石仙人峠、ローソン釜石平田店、釜石唐丹 IC 入口待避所、国道 45 号大石入口待避所、鍬台トンネル待避所、吉浜 IC 入口付近北側待避所、三陸 IC 入口待避所

7 今後の予定

- ・シミュレーションの実施…9月3日(水) 13時30分 釜石消防署
- ・シミュレーション予備日…9月5日(金) 13時30分 釜石消防署
- ・試行運用開始……………9月16日(火) 9時から

8 シミュレーション（ドクターカー運用訓練）の実施について

(1) 目的

県立大船渡病院のドクターカーの釜石大槌地区での運用開始に伴い、釜石大槌地区行政事務組合消防本部の救急隊との通信訓練、連携確認、及び医師、看護師、運転手がドクターカーで出動から帰院までの流れの確認をすることにより、病院と消防との連携体制の構築を図ることを目的とする。

(2) 主催

釜石大槌地区行政事務組合消防本部

(3) 日時

令和7年9月3日(水) 13時30分から15時頃まで

※不測の事態により中止・延期となる場合があります

※予備日 9月5日(金) 13時30分から15時頃まで

(4) 場所

釜石消防署（釜石市鈴子町16番19号）

・敷地内にドッキングポイント、仮想病院、仮想救急現場、仮想大槌消防署を設ける

(5) 対象者・参加者

訓練対象者は消防署職員全員とする

(6) 訓練想定

・1症例目（救急隊の活動見学）

救急車内からドクターカー要請を確認し、その後、救急隊の連絡状況等を確認する。ドッキングポイントに救急車、及びドクターカーが到着したならば、釜石消防署庁舎前で接触後の活動を見学する。

・2症例目（ドクターカーの活動見学）

仮想病院（庁舎内）でドクターカー要請を確認し、ドクターカーに乗車、その後、ドクターカー内の連絡状況等を確認する。ドッキングポイントに救急車、及びドクターカーが到着したならば、釜石消防署庁舎前で接触後の活動を見学する。